



「いじめを見逃さない・許さない」



保護者・地域・教職員で子どもを見守る“たんぽぽ学校”

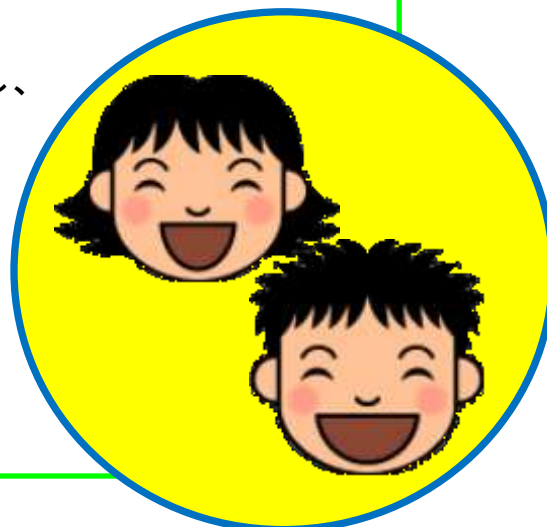


学校では

いじめを受けている子どもの立場に立って、毅然と対応し、いじめを受けている子どもを絶対に守り通します。

「まだ気付いていないいじめがある」「1件でも多く発見し、すべてのいじめを解決する」という姿勢で臨みます。

日頃から子ども同士の関係や動向を注意深く見守るとともに、定期的ないじめの実態把握や教育相談を充実させ、子どもたちはもちろん教職員のいじめ問題に対する意識を高めます。



家庭では



子どもたちの豊かな人間性を育むため、基本的な生活習慣や社会生活で守らなければならないルールやマナーが子どもたちに身に付くように、日々の家庭生活の充実を図ってください。

また、子どもたちが安心して何でも話せる家庭であるように、いじめ等を正しく認識し、気持ちのやりとりがスムーズにできるような明るい家庭づくりをお願いします。

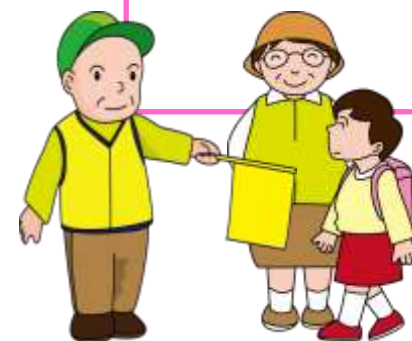
※詳しくは裏面をご覧ください。



地域では

子どもたちが社会生活で守らなければならないルールやマナーを身に付けられるように、たくさんの大人の目で見守り、声を掛けていただけるようお願いします。

様々な地域活動での人と人のつながりを生かして、いじめ等の防止活動への協力と、学校や新潟市などの関係諸機関への情報提供をお願いします。



新潟市立新潟小学校

TEL 025-228-3059

FAX 025-228-0189



ご家庭ではこんなことを大切に

親子でゆっくり対話することを大切に

『親は自分のことを大切に思っている』

そう感じる事ができれば、子どもはどんな人にも心を開き、やがては自分も友達も大切にしていける態度を形成していくことでしょう。対話とは、文字通り言葉を交わすことだけではなく、一緒に遊んだり夕食を共にとったりすることです。つまり、一緒に時間を過ごすことが対話の始まりなのです。何かと忙しい現代、ときにはゆっくり子どもとの時間を楽しみませんか。



子どもが安心できる居場所づくりを

成長の過程にある子どもたちは、友達と衝突したり、けんかをしたりすることもあります。そんなとき、家に帰れば、気持ちがほっとする。そんな居場所があれば、子どもは、また元気になって外に飛び出していくことができます。そのためには、親が「聞き上手」になってあげることです。

子どもにストレスを与える言葉を向けていませんか

- 「早くしなさい！」
- 「どうしてできないの？」
- 「何度言ったらわかるの？」
- 「今、忙しいから・・・」

子どものことを思うあまり、つい言ってしまうことはありませんか。しかし、このような言葉や態度で接していると、知らず知らずのうちにストレスを与えてしまうことがあります。子どもを追い込んだり、結果ばかりを求め過ぎたりしないように、ぜひその子なりのがんばりや成長を認めてあげる声掛けを心掛けていきましょう。



保護者同士、地域の人とのつながりを大切に

親自身が、悩みや不安を一人で抱えてしまうと、イライラしてしまい、結果的に子どもにあたってしまうこともあります。PTA 活動や地域の行事などを通して、保護者同士、地域の人とのつながりを深め、地域の子どものためにみんなで育てていきましょう。

☆ 主な外部連携機関連絡先

- ・新潟市教育委員会
- ・学校支援課（SST スーパーサポートチーム・SSW スクールソーシャルワーカー）…226-3299
- ・新潟市教育相談センター…222-8600
- ・大畑少年センター…228-4100
- ・新潟ひまわりクラブ…224-5201
- ・生涯学習センター「クロスパルにいがた」…224-2088
- ・新潟市児童相談所…230-7777
- ・新潟中央警察署…（代）225-0110

